

福島市市民活動サポートセンター



ふくサポの  
広報大使  
サボわんでーす

# ふくサポ通信

2023年若草号  
vol.108



にゃんこ隊長です

<https://www.f-ssc.jp>

## にゃんこ隊長が行く！

### 福島市手をつなぐ親の会

～みんなの声でつくる福島市～

「福島市手をつなぐ親の会」は、障がい児者の家族と支援者によって昭和30年に設立された団体です。障がいがある人がより良い福祉環境で暮らしていくために、学習会をはじめ、行政や関係団体との共催事業や啓発・要望活動を行っています。

今回は大盛況となったプラネタリウムの活動エピソードとヘルプカードの2つをご紹介します！

障がい児者をもつ家族は周りの人の迷惑にならないようにと、プラネタリウムをはじめとする娯楽施設等を利用しづらく避けてしまうという背景がありました。

会長の木曾さんはコロナ禍で中止が続いていた共催事業をなんとかしようと、市役所の方に相談し、障がい児者でもプラネタリウムを観ることができるようになりました。これにより、上映中歩き回っても声を出しても大丈夫な時間と空間を実現できました。障がい児者を見守る保護者からは、プラネタリウム鑑賞を安心して一緒に体験できて嬉しかったという声があふきました。「静かに座って鑑賞するもの」そういった“常識”が障害になっていると感じました。

次に紹介するヘルプカードは、カードケースや財布などに入るコンパクトなサイズで、広めの空欄が設けられています。「私は知的障害があります。ゆっくり丁寧に話してください」「手話か筆談をお願いします」などの様にあらかじめ記入しておきます。急に体調が悪くなった場合など周りの人に提示することで具体的かつ早急に対応してもらえるツールとなっています。私が取材して驚いたのが、このヘルプカードは選挙の時にも配慮してくれるという点でした。投票所で提示することによって、係りの方がヘルプカードに記載されている内容に沿って個別に対応してくれることにも優しさを感じました。

「障がい児者やその家族の選択肢はまだまだ狭い。障がいがあるから諦めるのではなく、障がいがあっても選べる選択肢がもっと増えるようにこれからも頑張りたい」さらに、「障がい児者だけではなく、高齢の方や子育てなど、みんなが福島市で生活しやすい環境にしたい。そしてみんなが優しい街になるようにこれからも活動していきます」と木曾さんは結びました。

#### 「お問い合わせ先」

福島市手をつなぐ親の会  
住所：福島市岡部字大久保36-1（もちずりワーク内）  
TEL：024-515-0878 FAX：024-515-0861



【代理投票の講習や定期学習会の様子】



【ヘルプマークのストラップ】



会長の木曾 明美さん

令和5年度福島市市民活動活性化支援事業補助金

団体募集!

社会貢献活動を行う市民活動団体を応援します!!

今年度も市民活動活性化支援事業の募集が開始されました。この事業は、市民活動のさらなる発展のため、自主的、自発的に社会貢献活動を行う市民活動団体に対し補助金を交付するものです。

去る4月21日、令和4年度本補助金に採択された団体の実績報告会が行われ、設立間もない団体の市民活動スタート部門と事業発展や団体同士の連携を図る活性化部門の計4団体が報告しました。各団体は、HPや広報誌の作成で活動のPRに、また組織基盤を強化するための勉強会やワークショップなどに活用し、助成により一層活動の幅を広げたようでした。この報告を受け審査委員からは、事業の継続の大切さや団体の更なる可能性などについて講評されました。



今年度の事業の詳細については下記の表をご参照ください。

補助制度の内容

	市民活動スタート部門	市民活動活性化部門	
		事業発展コース	事業連携コース
目的	設立間もない団体の組織基盤強化を促進する	市民活動の継続性の向上と活性化を促進する	複数団体で取り組む連携事業を促進する
対象団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助の要件を満たす団体 (要項参照)</li> <li>令和3年4月1日以降設立の団体</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助の要件を満たす団体 (要項参照)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数団体が連携した主体団体</li> <li>代表団体及び連携団体で構成された主体団体</li> <li>代表団体及び連携団体それぞれが補助の要件を満たす主体団体 (要項参照)</li> </ul>
※過去に市民活動活性化部門の採択を受けた団体は、申請することができません。			
対象事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>団体の人材育成や組織基盤強化に関する活動</li> <li>団体の認知度向上のための広報活動 など</li> </ul>	団体の目的達成のために新たに行う、又は既存事業を拡大・発展させる事業等	複数団体で連携して取り組む必要があり、社会や地域の課題改善、解決につながる上記事業
補助率	補助対象経費に対して <b>10/10以内 (上限15万円)</b>	補助対象経費に対して <b>2/3以内 (上限30万円)</b>	

補助金交付の決定は7月上旬頃の予定となりますので、秋からの事業やイベントなど、活動の発展のため申請をしてみたいかがでしょうか。なお、申請にあたり企画内容等について事前に相談が必要となります。

◆事前相談の受付

福島市地域共創課：☎024-525-3731、または福島市市民活動サポートセンター☎024-526-4533 (火曜日休館) 随時受付いたします。まずは、お電話またはメールでご連絡ください。

◆夜間相談 (予約制)

ご希望の方は必ず前日までにお電話、メール等でご連絡ください。

※都合によりご希望の日時に沿えない場合がございますのでご了承ください。

★募集締切5月31日(水) 必着

お問合せ：福島市政策調整部 地域共創課 TEL 024-525-3731 (直通)

E-mail : katsudo@mail.city.fukushima.fukushima.jp





## NPO法人の会計基準に則したポイント

多くのNPO法人のみなさんは3月で年度を修了し、4月からは新年度を迎えていると思いますが、報告書の提出はお済でしょうか？「コロナウィルスの影響で事業報告書等の提出が遅れそう」などと思っている団体もあるのではないのでしょうか？ NPO法では「毎事業年度一回、事業報告書等を所轄庁に提出しなければならない」とあります。原則、事業年度が終わってから3ヶ月以内に事業報告書等を所轄庁あてに提出しなければならないということです。

ここでは、報告書の提出にあたり、特に問合せが多い財務諸表（会計書類）についてのポイントをおさらいします。

### 財務諸表全体で注意すべき **6つ** のポイント

<p><b>財務諸表</b></p> <p>「活動計算書」「貸借対照表」「財務諸表の注記」の3種類を作成しましたか？</p> <p style="text-align: right;">OK! <input type="checkbox"/></p>	<p><b>活動計算書と貸借対照表の関係</b></p> <p>活動計算書の「次期繰越正味財産額」と貸借対照表の「正味財産合計」の額が一致していますか？</p> <p style="text-align: right;">OK! <input type="checkbox"/></p>	<p><b>活動計算書と注記の関係</b></p> <p>活動計算書に受取助成金等もしくは使途指定寄付金の注記がある場合には、注記の「使途等が制約された寄付等の内訳」を記載しましたか？</p> <p style="text-align: right;">OK! 該当無 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>
<p><b>貸借対照表と注記の関係</b></p> <p>貸借対照表に固定資産の記載がある場合には、注記の「固定資産の増減内訳」を記載しましたか？</p> <p style="text-align: right;">OK! 該当無 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>	<p><b>貸借対照表と注記の関係</b></p> <p>貸借対照表に長期借入金か短期借入金の記載がある場合には、注記の「借入金の増減内訳」を記載しましたか？</p> <p style="text-align: right;">OK! 該当無 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>	<p><b>活動計算書・貸借対照表と注記の関係</b></p> <p>役員と法人との間に、金銭のやり取り（業務委託・借入・寄付等）がある場合には、注記の「役員及びその近親者との取引の注記」を記載しましたか？</p> <p style="text-align: right;">OK! 該当無 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>

作成した財務諸表が「社会の信頼に答え得る正確な財務諸表である」と言えるためにもチェックポイント表で確認してみてください。なお、詳細は「[みんなで使おうNPO法人会計基準](#)」まで！

## ☆ふかちゃんをつぶやき☆

### 共感を得る

ふかちゃんことふくサポの常勤顧問である深澤秀樹が、感動したことや疑問に思ったことなど、時事ネタを交えながらつぶやきます。

新しい生活・出会いの4月。ワクワクとドキドキの4月。新たなスタートを切るのは自分の為？ 家族の為？ 社会の為？、そんな全部だよ～！。それより明るく楽しくだよ。そのポイントは「必要」を「やりたい」に変えること、主体的に関わって自分ごとにする事だ。う～ん、出来るかな～？。

でも、もらった新しい縁だ、もうチョット考えてみよう！あなたが「魅かれる人」ってどんな人？「想いや夢を語れる人」「思いがけないことを言い出す人」、でも自分にはチョット難しいかな～、だったら「一生懸命で楽しそうな人」、それより「聞くのが上手な人」だよ。えっそれも難しい？う～ん、じゃあ「笑顔が素敵な人」「ありがとうと言える人」ならどうだ。

多くの活動団体が苦労しているのが「共感」を得ること。そして、「信頼」を得て「つながる」こと。共感の基本は、相手の感情に寄り添いながら聞くことだ。だから、自分の価値観と違う時には、なかなか共感できない。しかし、違いを感じつつも相手がどんな人か知ることによって喜びや楽しみを感じることはできる。共感は出来ないが理解はできるのだ。相手の実現したい未来と問題や悩みを理解し、コミュニケーションを取り続けることによって関係を深めていくことは可能だ。むしろ、違う価値観だからこそ、互いに補うこともできる。



最近、知人が、フィットネスクラブに通い始めた。そこで出会う何人もの面白い人の話をしてくれる。私もこれまで場面が変わるごとに、数多くの人と出会い、語らい、教訓をもらった。でも、「これまで出会った人で最高だった人は誰？」と聞かれて、私は、う～ん、まだまだ、「明日出会う人かもしれない」と答えたい。ふと見上げた満天の星空は5月の星座。冬の大三角は西の空へ、もう私のしし座が天高く北斗七星の南にあった。



# ～ふくサポ おすすめの逸品～

## ～Part19～

いつになく早く訪れた今年の春。あたたかな日が続き、お彼岸には家族でお墓参りに行かれた方も多かったのではないのでしょうか。

お墓参りといえば生花をお供えするのがこの辺りでは一般的ですが、福島市南部～須賀川市では春彼岸に木で作られたカラフルな造花をお供えする風習があるそうです。これは昔ビニールハウスがなかった頃、春彼岸に生花がなかったため彼岸花に見立てた花を作り、お供えしていたことから続いているそうです。



【利用者さんが作成するカラフルな造花】



【福島県産の生米の  
ポンせんべい】

福島市松川町の旧国道4号線沿いにある「つくしの里」は特定非営利活動法人つくしの里福祉会が運営する就労継続支援B型事業所です。ここ松川町のほか清水町にも第2作業所があり、現在17名の方が利用しています。この施設の管理者兼サービス管理責任者の加藤圭子さんにお話を伺いました。

こちらで作られているのはおもに春彼岸にお供えされる彼岸花の造花で、平成19年の法人設立当初は1年間に2万本ほどでしたが、現在は10万本を1本ずつ手作りしています。茎の部分となる竹を竹藪から切り出すところからはじまり、材料はすべて土に還る自然のものを使用しています。

また、第2作業所では「ポンせんべい」も作られています。材料は福島県産の生米に青大豆、ごま、塩のみを使用し、昔ながらの製法で一枚一枚手焼きしています。その日の気温や湿度、米の状態によって加熱時間を秒単位で変えるなど、とても繊細な作業です。薄く焼き上げられたポンせんべいは、ふわっと軽い食感で、お米の甘さにやさしい塩味が絶妙。そして真ん中にプレスされた青大豆が香ばしく、つつい2枚目3枚目と手がのびてしまう美味しさです。



これらの商品はつくしの里のほか、JA直売所、松川町美郷のディスカバリーなどで購入できます。詳しくはつくしの里までお問い合わせください。

### 「お問い合わせ先」

#### つくしの里

住所：福島市松川町字平館11-1  
TEL：024-563-1515 FAX：024-563-1516  
MAIL：tukusinosato-s@quartz.ocn.ne.jp  
営業時間：8:30～17:00  
定休日：土曜・日曜・祝日

## 編集後記

- ・ 秋刀魚の代わりに河豚、早い開花に黄砂の夏日、地球の叫びが気になる昨今だね。 (ふかちゃん)
- ・ 庭の草木の香りに愛猫と鼻を「クンクン」春？あれ？初夏の匂い？ (マータン)
- ・ 頑張れ、大谷翔平!! 「野球界の宝」!! 日々の速報が楽しみです(^\_^♪ (みー)
- ・ 苔を買ってちっちゃなテラリウムを始めてみました。 (井)
- ・ 新緑が眩しい季節、美味しい緑茶が飲みたくなります。 (な)

## 福島市市民活動サポートセンター「ふくサポ通信」2023年若草号 vol.108

発行日/2023年4月30日 編集/認定特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター  
発行/福島市市民活動サポートセンター 〒960-8041 福島市大町4-15 チェンバおおまち3階  
TEL 024-526-4533 FAX 024-526-4560 URL <http://www.f-ssc.jp> MAIL [f-ssc@bz01.plala.or.jp](mailto:f-ssc@bz01.plala.or.jp)